

第3回アジアジュニアユース選手権大会の運営主体の決定について

1 応募団体

NPO オリエンテーリングクラブ・トータス

2 選考された団体

NPO オリエンテーリングクラブ・トータス

3 選考理由

同団体は、2000年以降においても5回の複数日大会の開催経験を有し、複数日大会の運営能力は十分にあると考えられます。また、現日本代表である選手が同団体には複数在籍し、ジュニア世界選手権、アジアジュニアユース選手権にはコーチとして帯同するメンバーがいるなど、世界のオリエンテーリング事情にも精通し、かつ海外からの参加者と必要なコミュニケーション能力は十分にあると考えられます。

候補としているテレインは今までに競技を行ったことのないテレインであるためにその詳細は不明であります。しかしながら、ヒアリングにおいて提示された質問に対して柔軟な対応を示していただいたことや実績から、同団体は当該大会に求められる適切な難易度のコースを設定していただけることが期待できます。

開催予定地には、いくつかの既存マップが存在することは周知のことであり、事前のトレーニングにも適しています。

また経済的な宿泊施設の提案が評価できます。

2003年には東日本大会（山梨県北杜市）を、2015年には全日本スプリント選手権（長野県松本市）の主管をしていただき、日本オリエンテーリング協会へのこれまでの貢献も評価できます。

また同団体は開催予定地となっている山梨県オリエンテーリング協会の会員

として活動をされてきており、今回の応募に当たっても山梨県オリエンテーリング協会の支持が得られていることも評価できます。

以上のことから同団体を当該大会の運営主体として決定しました。

4 選考の経過

2017年7月31日	業務執行理事連絡会でAsJYOC2019の立候補方針の決定
2017年8月22日	中国で開催されたAsian Working Group Meetingで立候補、決定
2017年9月27日	運営主体募集公告
2017年11月17日	NPOオリエンテリングクラブ・トータスから応募
2017年11月25日	ヒアリングの内容の通知
2017年12月3日	ヒアリングの回答を受理
2017年12月9日	理事会で運営主体の決定
2017年12月10日	決定の通知、公表